

# I. 調査要領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 24 年 4 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 24 年 1 月～3 月期の実績および平成 24 年 4 月～6 月期の見通しについて調査した。

## 2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

## 3. 回収状況

	企業数	回答企業数	回 答 率
商業+食品業部会	30 社	15 社	50.0%
水産業部会	30 社	16 社	53.3%
機械工業部会	30 社	17 社	56.7%
建設業部会	30 社	22 社	73.3%
観光・サービス業+諸業部会	30 社	21 社	70.0%
合 計	150 社	91 件	60.7%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

## Ⅱ. 概 況

－業況は悪化・次期も悪化見込み－

### 1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成24年1月～3月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比では△29.7**と前回調査時の△30.8からほぼ横ばいの状況となりました。前回の調査では次期見通しが-52.2の悪化と予想されていたため、予想ほど景況は悪化しなかったという結果となりました。市内経済を取り巻く経営環境は今後も大きな改善は見られないという状況が予想されています。

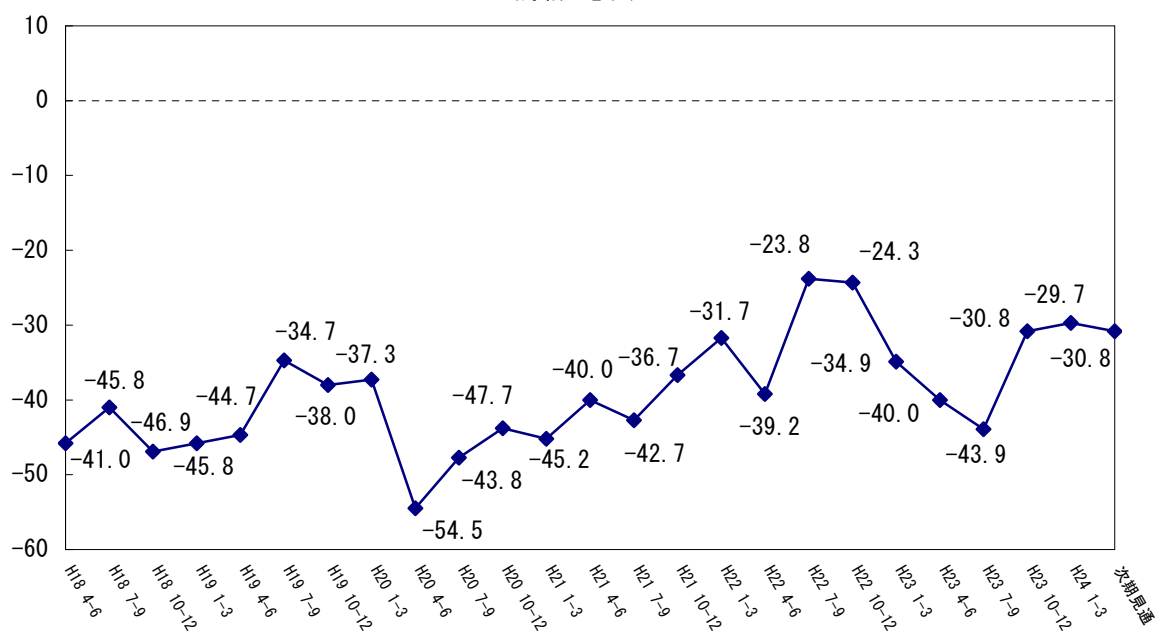
部会別で前年同期比ベースをみると、**商業・食品業**[前年DI値△12.5→今期△46.7]、**水産業**[前年DI値△64.3→今期△31.3]、**機械工業**[前年DI値△30.8→今期△23.5]、**建設業**[前年DI値△42.1→今期△36.4]、**観光・サービス・諸業**[前年DI値△28.6→今期△14.3]となりました。業況は依然マイナス水準で推移しているものの、**水産業、機械工業、建設業、観光・サービス・諸業**においてはいずれもマイナスながらも前年DI値に比べると**少し改善している動き**がみられます。反面、**商業・食品業**については全体的に業況が悪くなっている状態であり、夏場商戦に期待を持ちたいところです。

**来期(平成24年4月～6月)**については、今期と比べて**業況判断DIが1.1ポイント悪化**見通しで、ほぼ横ばいのグラフ結果となっています。

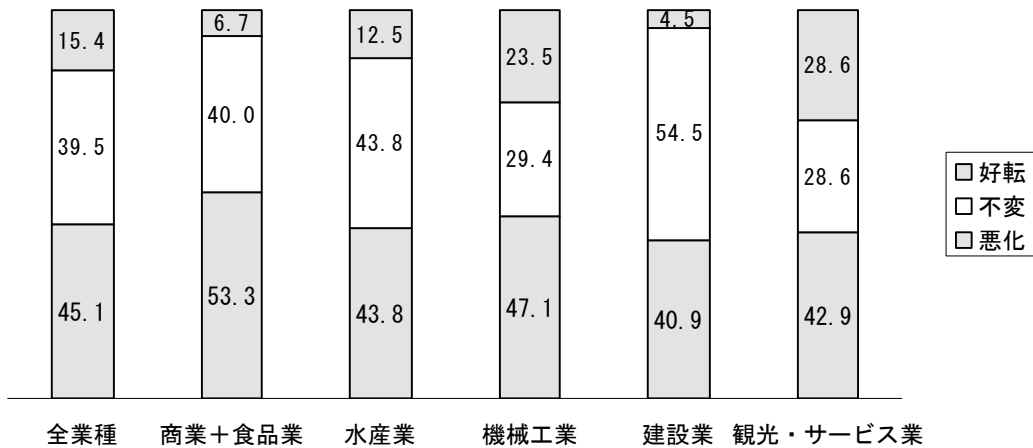
## 業況推移

(全業種平均D・I)

(好転－悪化)



## 今期の業況（前年同期比）



経営上の問題点としては、**需要の停滞**が水産業（原料不足原料単価上昇）以外の全業種で訴えられており、依然として景気停滞感が強く出ています。

### ■部会別の動向

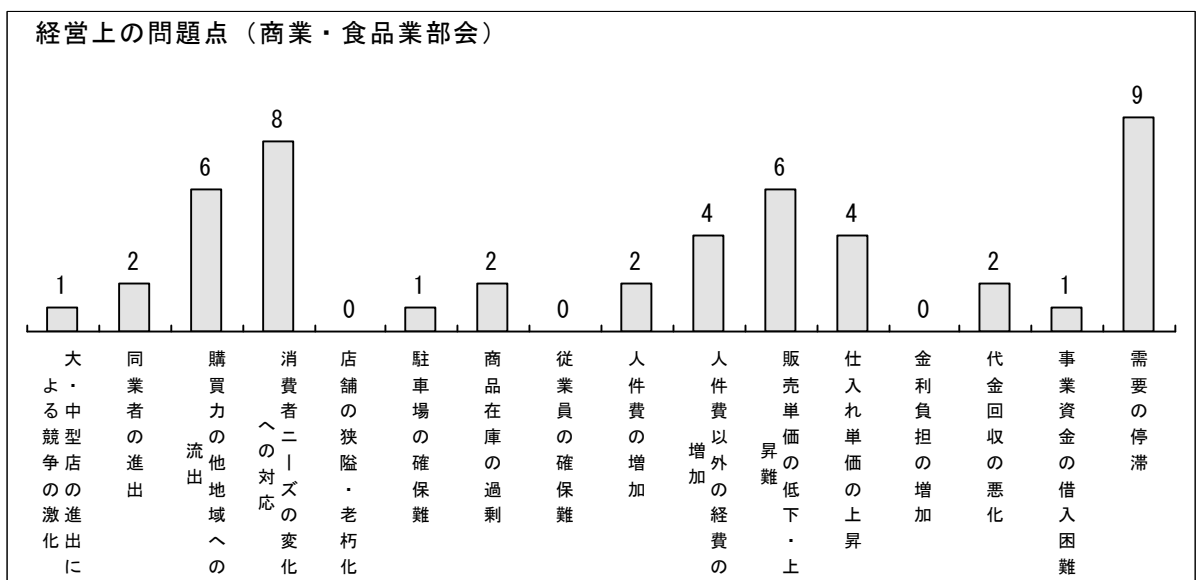
**【商業・食品業部会】**〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 46.7$ （前年DI値 $\Delta 12.5$ 、来期見通し $\Delta 40.0$ ）〕

業況DI値（前年同期比）は、前年DI値よりも景況悪化が見られます。人口の減少や景気低迷による購買力の低下停滞を訴える声が多く聞かれます。来期見通しは $\Delta 40.0$ という厳しい予想ですが、夏場商戦に向けての期待を持ちたいところです。

経営上の問題点としては「需要の停滞」に加え、「消費者ニーズの変化への対応」「購買力の他地域への流出」「購買単価の低下・上昇難」を訴える声が多く寄せられています。

#### 《業界の問題点等》

- ・街に魅力が無い！日曜日を休んでいる、購買が他地域へ流出しても“当たり前”（小売）



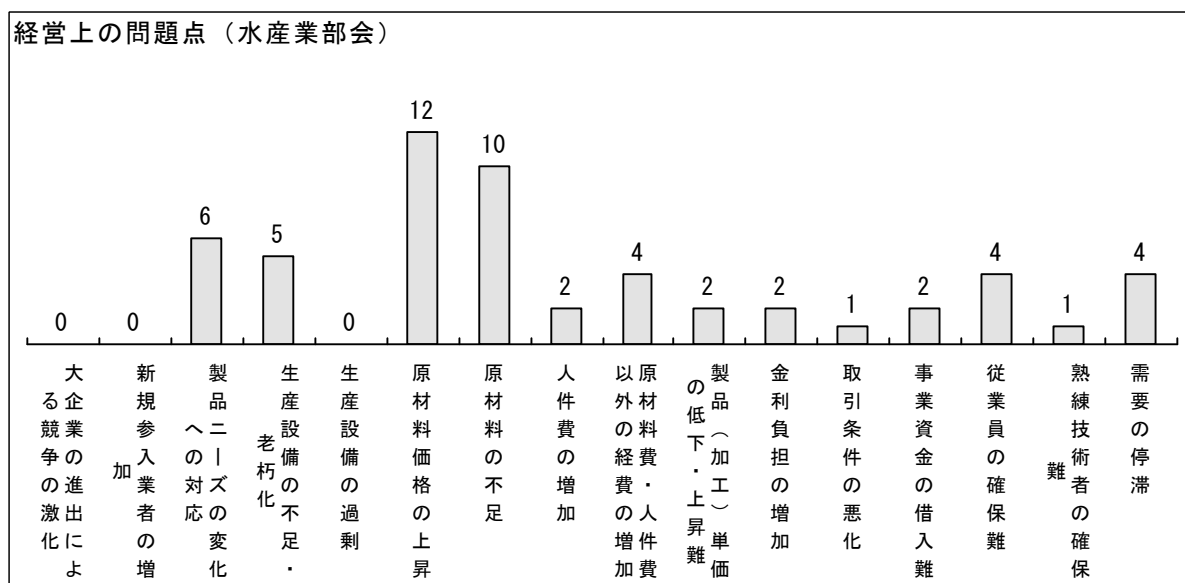
**【水産業部会】**〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 31.3$ （前年DI値 $\Delta 64.3$ 、来期見通し $\Delta 18.8$ ）〕

流水が去った浜の状況は、依然として厳しい状況で推移しています。浜の声として、原料不足と原料価格上昇が水産加工業に打撃を与えているので経営内容は良くないと聞きます。流水の居座りで海明けが遅かった影響なども出ていますが、毛ガニの本格シーズンを迎え、見通し

としては少し改善していくとの見方が広がっています。経営上の問題点としては「原材料の不足」「原材料価格の上昇」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・ 震災以降の売上、需要の伸びが小さく、利益確保が難しい。(水産加工)
- ・ 原料不足・原料高騰 (水産加工)



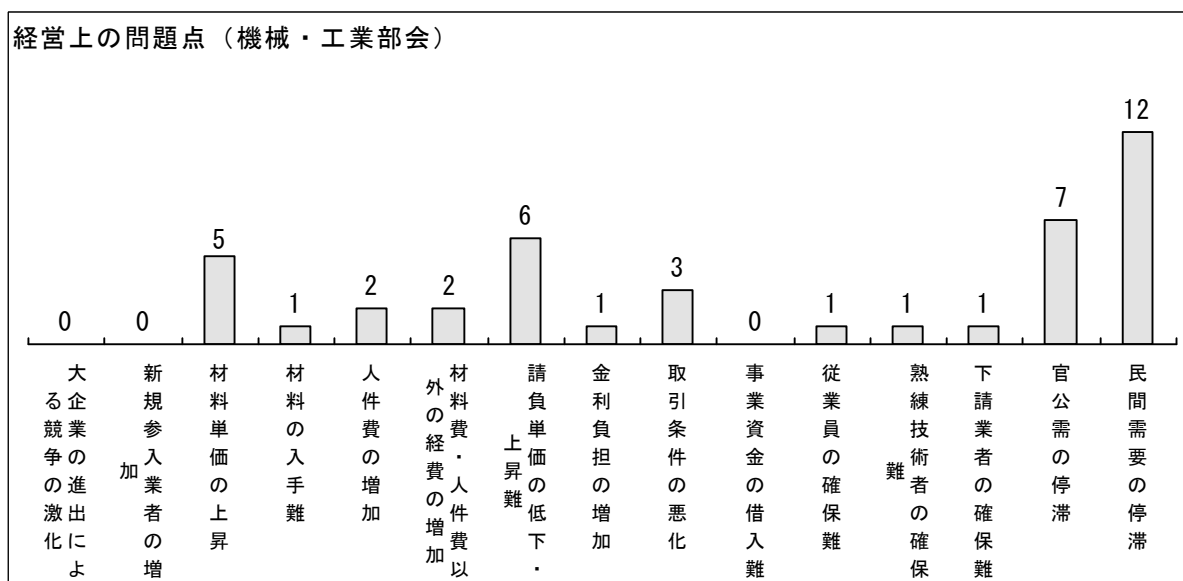
【機械・工業部会】 [業況判断 DI 値 (前年同期比) △23.5 (前年 DI 値△30.8、来期見通し△17.6)]

今回調査時点では、エコカー補助金とエコカー減税があり、この効果が現れているのではないかと推測していますが、以前のエコカー補助金エコカー減税の時よりは回復がなされていない数字となっております。(ちなみに以前の方はプラスへ回復しました。)

経営上の問題点としては、「民間需要の停滞」「官公需の停滞」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・ 従業員の資質 (向上に向けた取り組みが必要) (印刷業)
- ・ 熟練技術者の不足 (鉄工業)
- ・ 管内の住宅着工数の落ち込みが激しく、ピーク時の10分の1まで低下しています。大手ハウスメーカーの進出などで厳しさも増している状況です。(製造業)
- ・ 天候の不順にて、仕事の時期が遅くなり、今期は厳しかった。次期に期待します。(修理業)



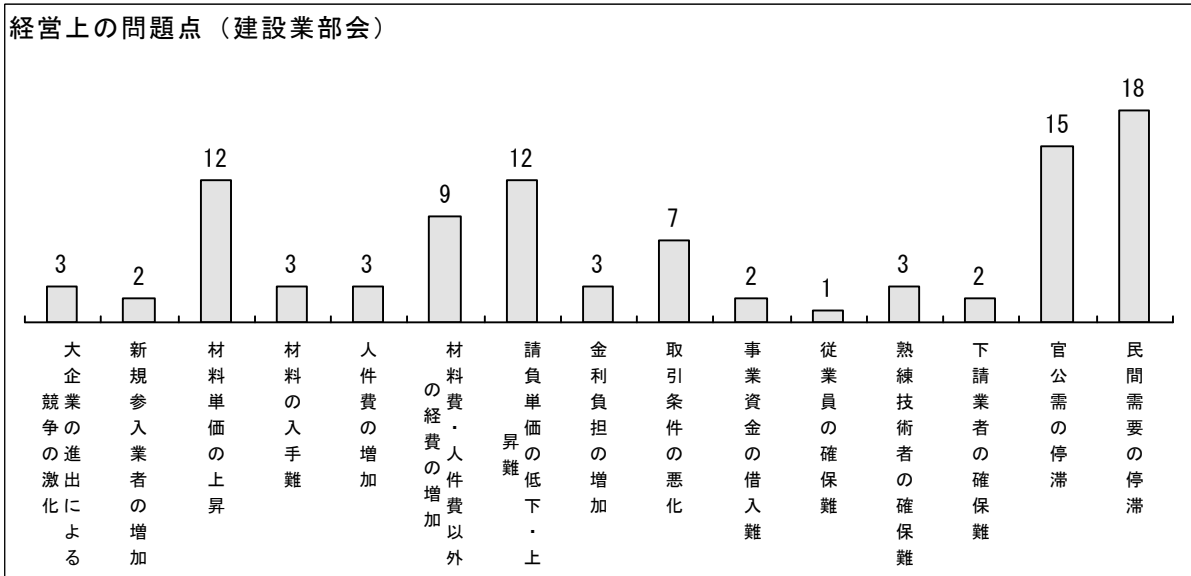
**【建設業部会】** [業況判断DI値(前年同期比)△36.4(前年DI値△42.1、来期見通し△54.5)]

今期のDI値は前年DI値とほぼ横ばいの状況で厳しい状態が続いています。今後夏シーズンに突入し、工事量の増加や土木建築工事が増えることを期待したいところですが、大震災の復興優先のムードが依然根強く、公共工事の更なる縮減が続くとの声も聞こえてきています。

経営上の問題点としては「民間需要の停滞」「官公需の停滞」「材料単価の上昇」「請負単価の低下・上昇難」を訴える声が多く寄せられています。

**《業界の問題点等》**

- ・公共工事が少ない。このままでは危険(建設)



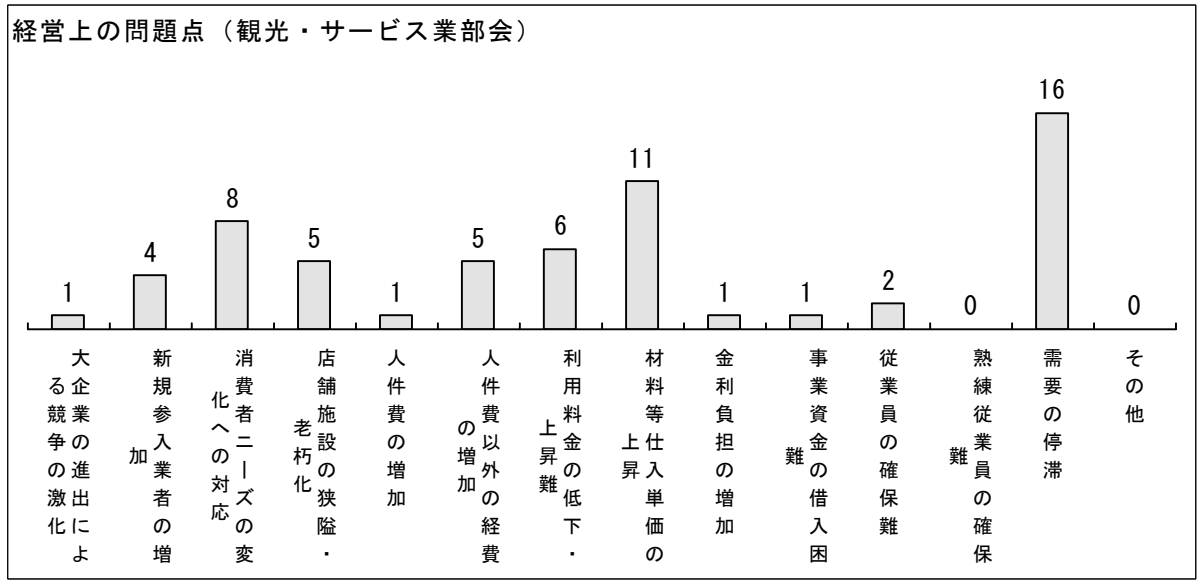
**【観光・サービス・諸業部会】** [業況判断DI値(前年同期比)△14.3(前年DI値△28.6、来期見通し△19.0)]

今期は、前回調査(平成23年9~12月期)の来期見通しが-58.8だった予想から見ると、飲食関係サービス関係の震災影響で自粛していたお客様が戻りつつあるとの数字の表れではないかと思えます。全業種の景気状況に左右される業種であり、今後の見通しからも徐々に良くなっていくのではないかと見ております。

経営上の問題点としては、「需要の停滞」「材料等仕入単価の上昇」を訴える声が多く寄せられています。

**《業界の問題点等》**

- ・①毎年500人前後の市人口の減少10年後には2万人を切るのでは?人口の流出を止めるための対策が必要。(企業誘致、若者の働き口確保等) ②毎年高齢化が進んでいるので、子売れ者向けのサービスを考えていかなければ生き残れないと思う。(飲食業)
- ・業況は悪くも良くもない状態です。国に頼ってはいは進歩も望めない。今こそ売上に結びつける良い方法を考え、経費の削減を図り、観光客に心のこもったおもてなしを提供する。また、紋別のまちの良さを知って貰って、災害のない街というPR強化を図る。(運送業)
- ・①2月に羽田紋別直行便復活で本州本面のお客様が戻った。 ②昨年の3.11震災の影響が無くなった。 ③これからの観光本番を迎えるに当たり、ガソリン高騰が心配の種。 ④企業努力の結果増加した。(飲食業)



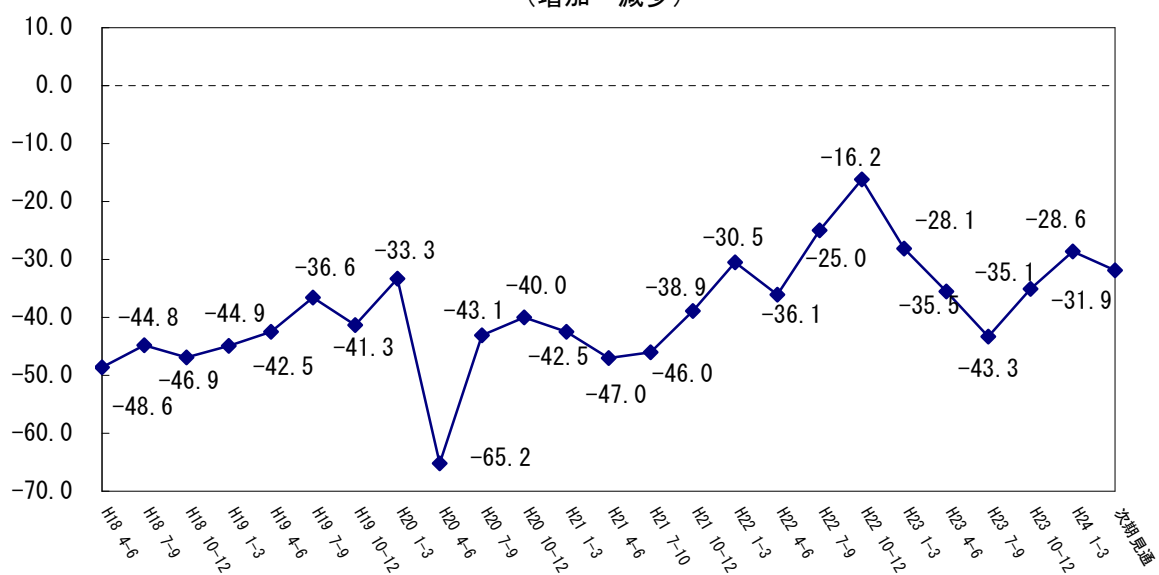
## 2. 今期の動向

### (1) 今期の売上高・生産高

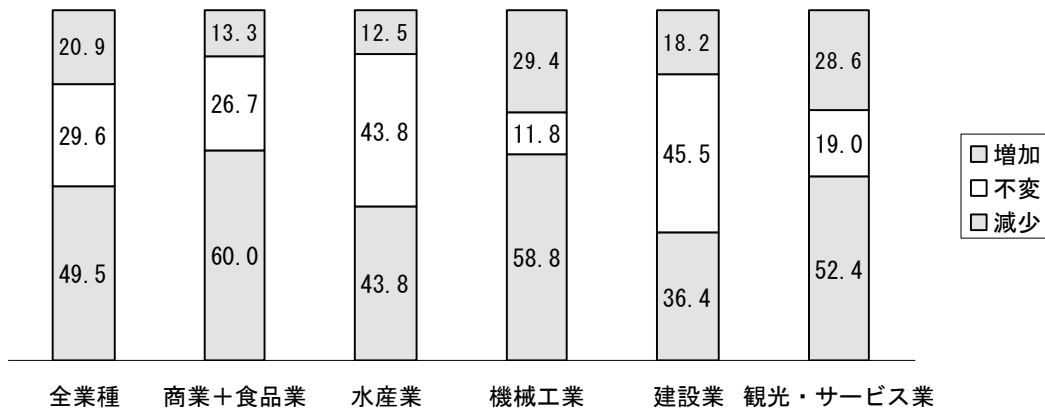
【前年同期比】（平成23年1月～3月期の水準と比較した今期の売上高）

## 売上状況（全業種平均D・I）

（増加－減少）



### 今期の売上高・生産高（前年同期比）



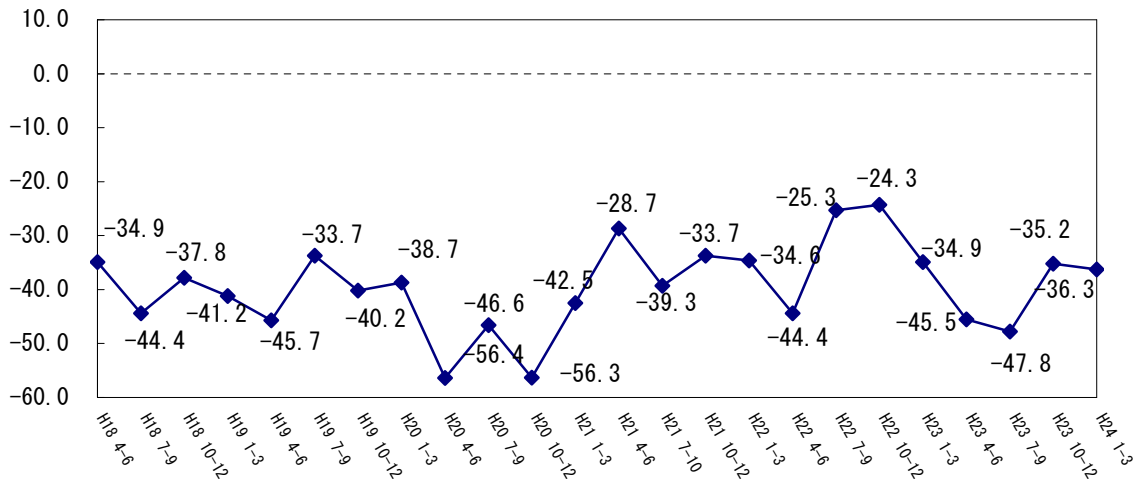
全業種平均でDI値 $\Delta 28.6$ 〔前回調査時（平成23年10～12月期 $\Delta 35.1$ ）より6.5ポイント改善〕。

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年 $\Delta 12.5 \rightarrow \Delta 46.7$ 〕、水産業〔前年 $\Delta 64.3 \rightarrow \Delta 31.3$ 〕  
 機械工業〔前年 $\Delta 30.8 \rightarrow \Delta 29.4$ 〕、建設業〔前年 $\Delta 42.1 \rightarrow \Delta 18.2$ 〕  
 観光・サービス業〔前年 $\Delta 28.6 \rightarrow \Delta 23.8$ 〕

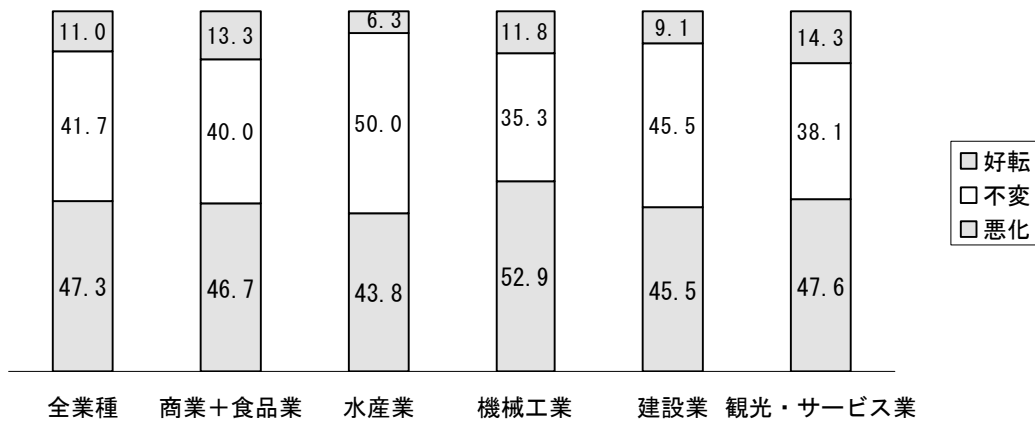
### (2) 今期の採算

【前年同期比】（平成23年1月～3月期の水準と比較した今期の採算水準）

### 採算推移（全業種平均D・I） （好転－悪化）



### 今期の採算（前年同期比）



全業種平均でDI値△36.3〔前回調査時（平成23年10～12月期△35.2）より1.1ポイント悪化〕

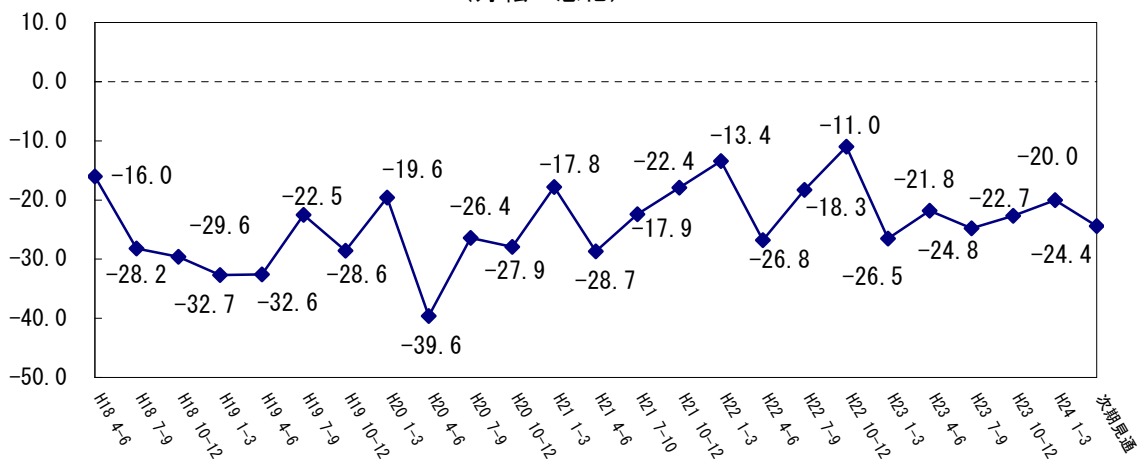
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年△6.3→△33.3〕、水産業〔前年△64.3→△37.5〕  
 機械工業〔前年△15.4→△41.2〕、建設業〔前年△31.6→△36.4〕  
 観光・サービス業〔前年△25.0→△33.3〕

### (3) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成23年1月～3月期の水準と比較した今期の資金繰り）

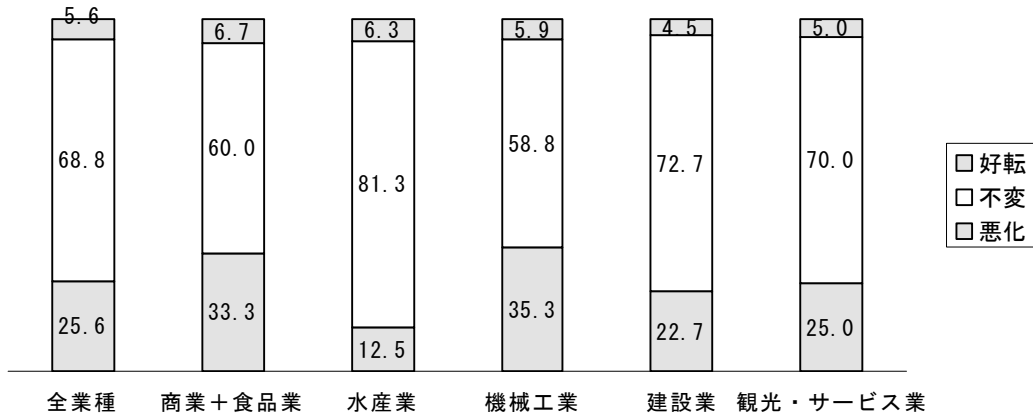
### 今期の資金繰り（全業種平均D・I）

（好転－悪化）





### 今期の資金繰り（前年同期比）



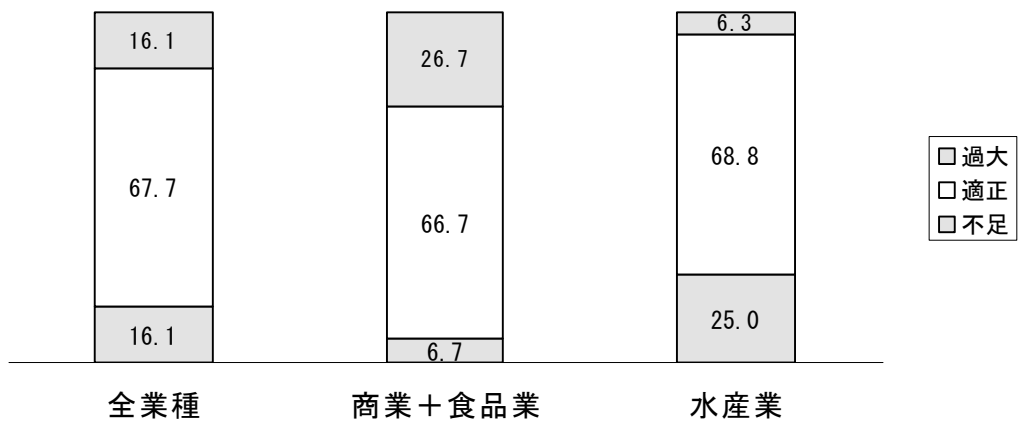
全業種平均でDI値 $\Delta 20.0$ 〔前回調査時（平成23年10～12月期 $\Delta 22.7$ ）より2.7ポイント改善〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年 $\Delta 31.3 \rightarrow \Delta 26.7$ 〕、水産業〔前年 $\Delta 28.6 \rightarrow \Delta 6.3$ 〕  
 機械工業〔前年 $\Delta 15.4 \rightarrow \Delta 29.4$ 〕、建設業〔前年 $\Delta 26.3 \rightarrow \Delta 18.2$ 〕  
 観光・サービス業〔前年 $\Delta 28.6 \rightarrow \Delta 20.0$ 〕

### (4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成23年1月～3月期の水準と比較した今期の在庫水準）

### 今期の在庫水準（前年同期比）



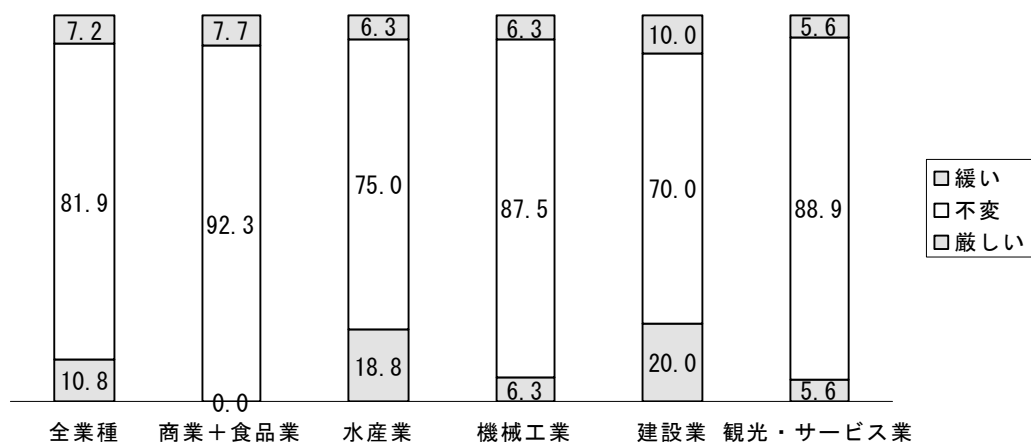
全業種平均でDI値 $0.0$ 〔前回調査時（平成23年10～12月期 $\Delta 8.5$ ）より8.5ポイント在庫増加〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年 $\Delta 18.8 \rightarrow 20.0$ 〕、水産業〔前年 $\Delta 21.4 \rightarrow \Delta 18.8$ 〕

## (5) 今期の金融機関の貸出姿勢

【前年同期比】（平成 23 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）

今期の金融機関の貸出姿勢

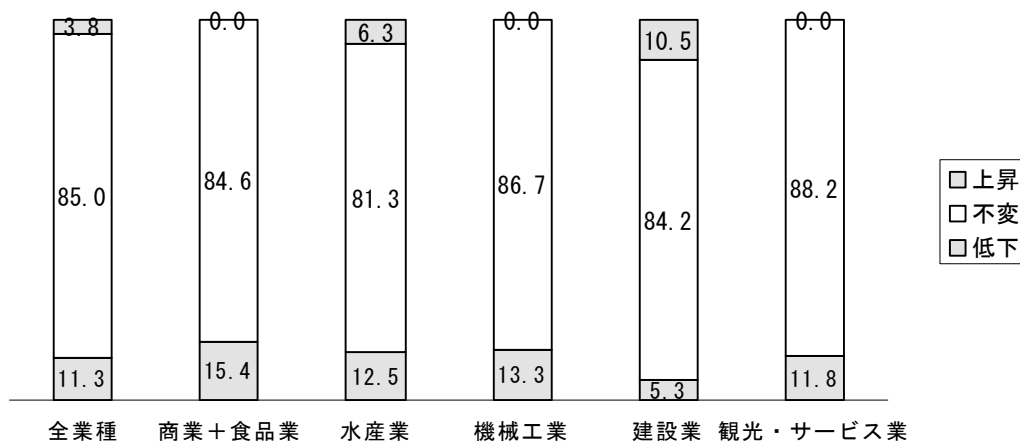


全業種平均でDI 値 $\Delta$ 3.6ポイント。商業食品業 7.7 水産業 $\Delta$ 12.5 機械工業 0.0 建設業 $\Delta$ 10.0 観光サービス業 0.0

## (6) 今期の借入金の金利水準

【前年同期比】（平成 23 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）

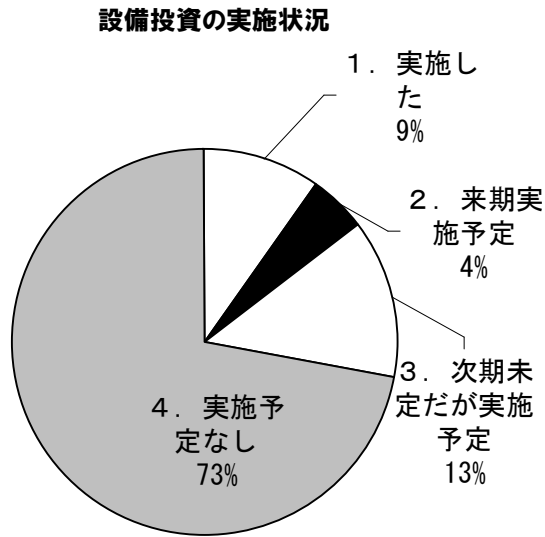
今期の借入金の金利水準



全業種平均でDI 値 $\Delta$ 7.5。商業食品業 $\Delta$ 15.4 水産業 $\Delta$ 6.3 機械工業 $\Delta$ 13.3 建設業 5.3 観光サービス業 $\Delta$ 11.8。

## (7) 設備投資の実施状況

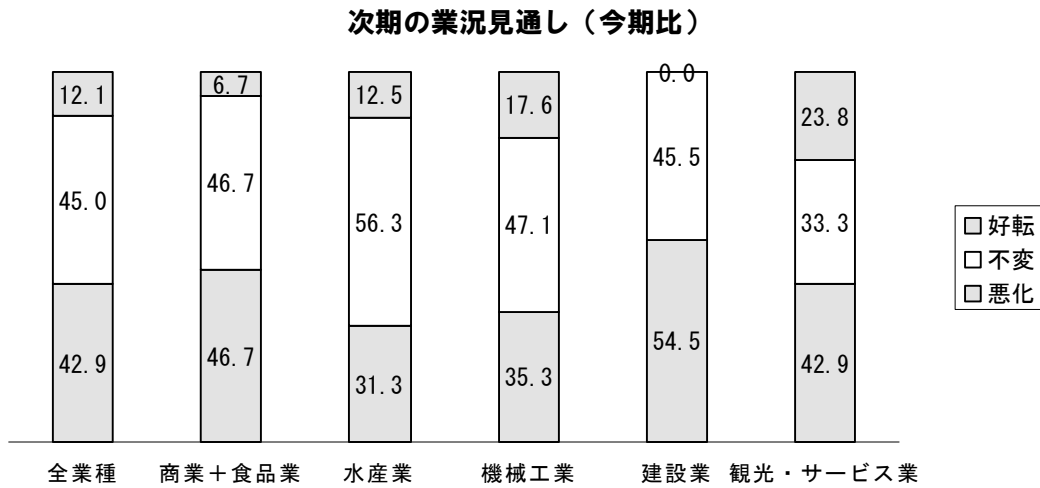
今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について



## 3. 来期の見通し

### (1) 来期の業況

【今期比】（平成24年1月～3月期の水準と比較した来期の業況見通し）

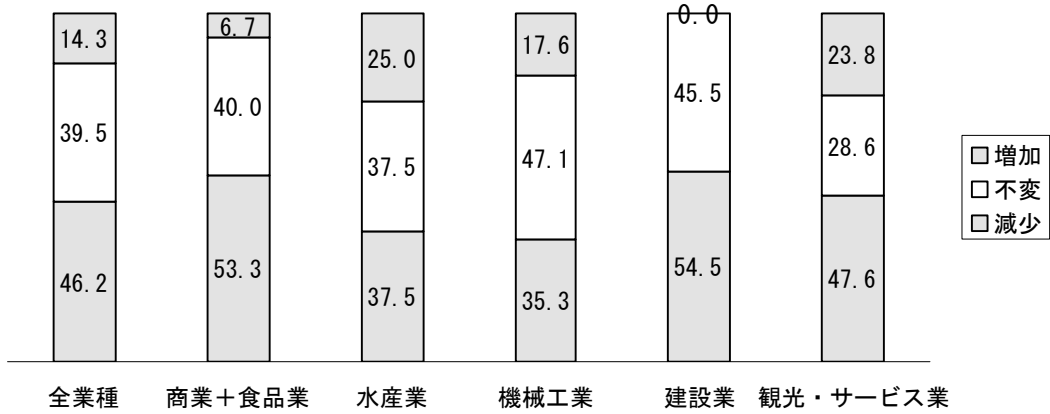


全業種平均でDI値 $\Delta$ 30.8〔今期の業況（前年同期比 $\Delta$ 29.7）より1.1ポイント悪化の見通し〕

## (2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（平成 24 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

次期の売上高・生産高見通し（今期比）

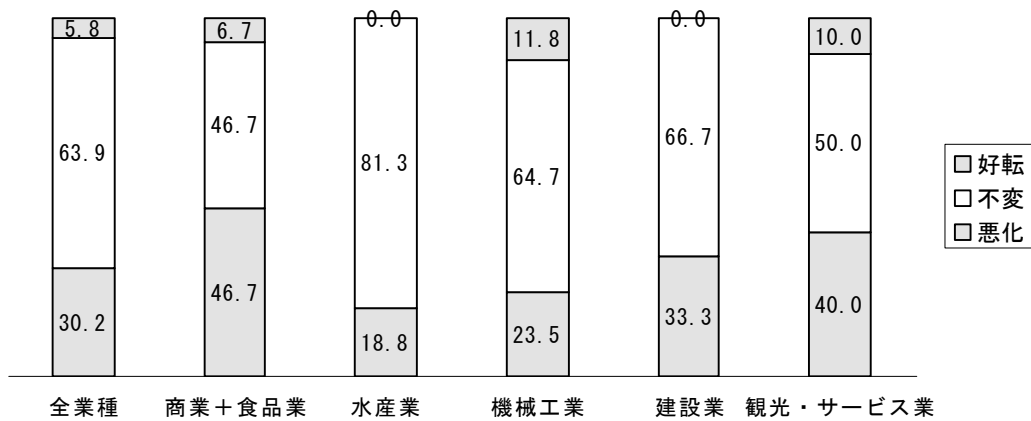


全業種平均でDI値 $\Delta 31.9$  [今期の売上高・生産高（前年同期比 $\Delta 28.6$ ）より3.3ポイント悪化の見通し]

## (3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 24 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）

次期の資金繰り見通し（今期比）



全業種平均でDI値 $\Delta 24.4$  [今期の資金繰り（前年同期比 $\Delta 20.0$ ）より4.4ポイント悪化の見通し]

### Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 ー ビ 入 ー 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	△29.7	△46.7	△31.3	△23.5	△36.4	△14.3
	来期見通し	△30.8	△40.0	△18.8	△17.6	△54.5	△19.0
売上 D・I	今期実績	△28.6	△46.7	△31.3	△29.4	△18.2	△23.8
	来期見通し	△31.9	△46.7	△12.5	△17.6	△54.5	△23.8
在庫 D・I	今期実績	0.0	20.0	△18.8	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	△36.3	△33.3	△37.5	△41.2	△36.4	△33.3
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	△20.0	△26.7	△6.3	△29.4	△18.2	△20.0
	来期見通し	△24.4	△40.0	△18.8	△11.8	△33.3	△30.0
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	△3.6	7.7	△12.5	0.0	△10.0	0.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	△7.5	△15.4	△6.3	△13.3	5.3	△11.8
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準D・I値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。